



小林古径(牡丹(絶筆))1956年頃 紙本彩色 小林古径記念美術館

新潟の 院展作家 たち

THE INTEN
ARTISTS
IN
NIIGATA

2017年
2月4日(土) - 3月20日(月祝)

開館時間 午前10時〜午後5時(観覧券販売は午後4時30分まで)
休館日 月曜日(ただし3月6日、3月20日は開館)

観覧料 一般700円 / 大学・高校生400円 / 中学生以下無料

※有料20名以上は団体料金で2割引

※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料手帳をご提示ください

※新潟県立植物園および新潟市新津鉄道資料館の入館券持参で2割引

主催 新潟市新津美術館 共催 新潟日報社

後援 日本美術院 朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、
産経新聞新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST、
TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCV新潟センター、
エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、
ラジオチャット・エフエム新津、エフエム角田山ほかげラジオ

関連事業

新潟の院展作家による対談

講師 穂苅春雄・浦上義昭

日時 平成29年3月12日(日) 午後1時30分〜3時

会場 新津美術館レクチャールーム

定員 60名(当日先着順、申込不要)

参加費 無料(ただし観覧券が必要) ※託児あり

作品解説会

日時 平成29年2月18日(土) 午前11時〜12時

平成29年3月5日(日) 午前11時〜12時

会場 企画展示室

講師 当館館長

※託児あり

こどもタイム

会場に音楽が流れます。

親子で会話を楽しみながら鑑賞ください。

日時 会期中の第1・3木曜日・日曜日

(2月5日、16日、19日、3月2日、5日、16日、19日)

時間 午前10時〜午後1時

託児サービス(無料)

対象 生後6ヶ月〜就学前のお子様(定員3名程度、先着順)

申込方法 利用日の3日前までに電話

(0250-25-1300)でお申込みください。

●鑑賞のための託児サービス

日時 会期中の第2・第4の木曜日・土曜日

(2月9日、11日、23日、25日、3月9日、11日)

時間 午前10時〜12時

●関連事業のための託児サービス

日時 2月18日(土)、3月5日(日) 午前10時30分〜12時30分

日時 3月12日(日) 午後1時〜3時30分

展覧会のご案内

次回予告

「藤城清治 メルヘン 光の世界展」

2017年4月8日(土)〜6月4日(日)

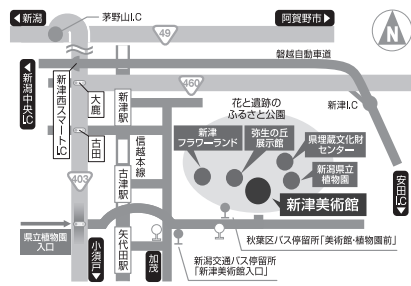
新潟市美術館

「木村希八さんの贈り物」

2017年1月28日(土)〜3月5日(日)



小林古径(椿)昭和初期 紙本金地彩色 小林古径記念美術館



NAM 新潟市新津美術館

〒956-0846 新潟県新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1 花と道跡のふるさと公園内(新潟県立植物園となり)
TEL. 0250-25-1300 <http://www.city.niigata.lg.jp/nam/>

[JR]・JR古津駅から徒歩約25分。・JR新津駅からタクシー約15分/JR矢代田駅からタクシー約5分。
[お車]・会津若松方面から、磐越自動車道新津ICより約20分。・新潟市街地方面から、磐越自動車道新津スマートICより約15分。
※新津スマートICは会津若松方面の出入りにはできません。
[バス]・JR新津駅東口バス停から、秋葉区バス「新津駅西口行き」(発車時刻9:25、13:10)に乗車約25分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。
もしくは新潟交通バス「矢代田経由白根・湯東行き」(発車時刻11:30、12:45、平日のみ15:30)に乗車約15分、「新津美術館入口」で下車、徒歩約5分。
・JR矢代田駅前バス停から、秋葉区バス「新津駅東口行き」(発車時刻11:49、15:34)に乗車約10分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。
もしくは新潟交通バス「新津駅行き」(発車時刻12:12、土休日のみ14:15)に乗車、「新津美術館入口」で下車、徒歩約5分。

新潟の院展作家たち

THE
INTERNATIONAL
ARTISTS
IN
NIIGATA

新潟県は明治時代から現在に至るまで多くの日本画家を輩出してきています。出身、あるいは新潟にゆかり持つ日本画家の中には、明治から大正、昭和、そして平成まで、再興日本美術院に所属して活躍してきた作家が多くいます。今回の展覧会では、再興院展を発表の場として出品してきた「新潟の院展作家たち」に焦点をあて、秋の「院展」や「春の院展」への出品作を中心に紹介します。文化勲章を受章した小林古径や物故の同人小島丹彦、現在同人として活躍している伊藤彰耳、大矢紀、齋藤満栄をはじめとして、招待の番場三雄、特待や院友として活躍している多くの作家たちがいます。今回の展覧会では、日本画の発展や新潟県の文化に貢献している新潟の院展作家34人の作品約95点を集めて展示します。



1. 小林古径《丘》
1951年 紙本彩色 小林古径記念美術館
2. 小林古径《楊貴妃大下絵》
1951年 紙本彩色 個人蔵
3. 小島丹彦《昼(漁港)》
1974年 紙本彩色 新潟市新津美術館



同人

再興日本美術院

日本美術院は、1898年(明治31)岡倉天心を中心に、橋本雅邦、横山大観、菱田春草らによって在野の美術団体として結成されました。1913年(大正2)に天心が死去すると、翌14年に横山大観、下村観山らが中心となって、再興日本美術院が結成されました。

再興日本美術院では、安田靉彦、小林古径、前田青邨、速水御舟、奥村土牛、片岡球子、平山郁夫などの、個性的な近代日本画家が数多く活躍しました。

現在、再興日本美術院の展覧会は院展と呼ばれ、秋には「再興院展」、春には「春の院展」が開催されています。



4. 伊藤彰耳《春ふたたび》
2011年 紙本彩色 個人蔵
5. 齋藤満栄《橋(カレル)》
2008年 紙本彩色 新潟県立近代美術館・万代島美術館
6. 大矢紀《北岬》
1976年 紙本彩色 新潟県立近代美術館・万代島美術館



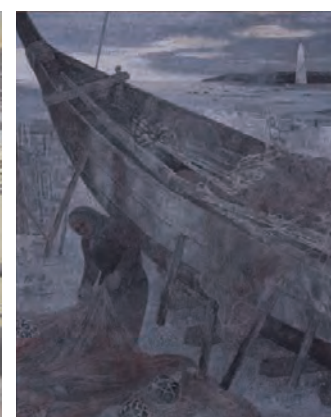
招待

7. 番場三雄《越えて》
2006年 紙本彩色 個人蔵

特待



8. 長井亮之《春の朱鷺》
1985年 紙本彩色 白根カルチャーセンター
9. 大矢十四彦《明けゆく》
2001年 紙本彩色 新潟県立近代美術館・万代島美術館
10. 穂苅春雄《ランデーコタルの老人》
1999年 紙本彩色 個人蔵
11. 浦上義昭《停車場(STATION)II》
2011年 紙本彩色 個人蔵



出品作家

- 小林古径
- 小島丹彦
- 伊藤彰耳
- 大矢紀
- 齋藤満栄
- 番場三雄
- 小林大幾
- 荻根沢映泉
- 番場春雄
- 長井亮之
- 本間正英
- 大矢十四彦
- 穂苅春雄
- 涌井欽也
- 浦上義昭
- 白井進
- 大矢黄鶴
- 埴山阡蒼
- 星野楚人
- 高野常与志
- 藤田熊雄
- 外川利雄
- 倉田久男
- 田中武夫
- 渡辺富栄
- 柳谷一代
- 藤田チヨ子
- 田中百合子
- 洞谷重里佐
- 小林路子
- 横山信子
- 白井良子
- 三輪ヒロ子
- 福田揚子
- (順不同)